

かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3F

E-mail: triver@ae.auone-net.jp Tel: 022-398-8831 Fax: 022-398-8832

東北河川管理技術研究会の活動

堤防、樋門・樋管、河道、ダム管理の4分科会を開催いたしましたので報告します。

I. 堤防分科会

1. 開催日・場所：平成28年8月24日（水）東北地方整備局 水災害予報センター（13F）
2. 出席者：東北地方整備局 6名 研究会会員 13名
3. 討議内容

1) 情報提供

- ・『堤防法面の植生管理に関する考察』について 菅原信雄会員
堤防管理の永遠のテーマ「芝」をいかに良好に保つかの、研究であり、その普及が課題。
(このテーマは、出監連でも、調査研究され、除草の時期、回数に一定の結果を得ている。)
- ・『河川工事課から①ICTの取り組み②水防災意識社会再構築ビジョン③復旧復興状況
④熊本地震の堤防復旧状況などの報告』

2) 検討内容

- 堤防分科会のH28～29のテーマ「堤防の損傷（13変状）に対する応急対策工法選定のための『応急対策工法ガイドライン』」について、検討。
- ・現役職員を交えたWGの設置
 - ・「応急対策工法ガイドライン」について、検討。
- 以上について、今後、WGの人選、スケジュールを確定、確認し、検討業務を実施する予定。



II. 樋門樋管分科会

1. 開催日・場 所：平成28年8月24日（水）東北地域づくり協会 会議室（3F）
2. 出 席 者：東北地方整備局 4名 研究会会員 12名
3. 討 議 内 容

- 1) 平成28年度分科会の進め方について
- 2) 情報提供

- ・東北地方整備局から「樋門・樋管の点検・補修に関する取組み」。

- 3) 自由討論

【討議のポイント】

- ・毎年実施している樋門樋管点検のあり方。
- ・河川巡視及び委託点検との役割分担の検討と東北河川管理技術研究会の役割。

【主な内容】

- ・東北技術事務所（以下東技）実施の点検・評価資料が出張所で把握されていないことがある。
- ・東技実施の点検・評価を基に、毎年の点検を行うと良いのではないか。
- ・各河川の特長（基礎地盤、地震の履歴）等を勘案して、重点的にみる樋門樋管を詰める。
- ・全てのクラックを目的別巡視で行うのは無理、各樋門樋管で評価に影響しているクラック等の変状箇所に印を付け計測等を行う方が良い。
- ・クラックを計測する位置・計測の方法が事務所や出張所で統一されていない。
- ・クラック一つに対し上下2箇所を計測する。
- ・柔構造樋門の設計・施工の初期（平成初期）の施設に注意が必要。
- ・門柱の付け根の函体部分が地震の揺れで変状が発生していることがある。
- ・上屋を後付けで設置した樋管の門柱が風荷重により痛んできているものがある。
- ・補修を行った実績（補修方法等を含め）をしっかりと記録を残して欲しい。
- ・函体内の水位差で沈下量等が分かるので呑口・吐口部や中央部に量水標を設置して欲しい。
- ・完成時に函体内に5m、10m等のマーキングを付けることで点検時がし易くなる。
また、点検用の梯子を付けるなど点検がしやすい施設をつくる。
- ・各県で現場との意見交換等が行えると良い。
- ・小断面の樋管は点検がしにくいので点検しやすい施設づくりをして欲しい。

【次回のテーマ】

- ・点検結果の事例を紹介し、それを基に討論したい。



Ⅲ. 河道分科会

1. 開催日・場所：平成28年8月24日（水）東北地方整備局 水災害予報センター（13F）
2. 出席者：東北地方整備局 9名 研究会会員 14名
3. 討議内容

- 1) 平成28年度分科会の進め方について（分科会が提案）
- 2) 情報提供

- ・平成27年度河道分科会の活動報告
- ・河川計画課から「減災対策」「各河川における課題と検討方法」

- 3) 自由討論

【主な内容】

- ・各河川で河道堆積の傾向と変動予測などを工夫しているが、担当課のみで議論され、出張所や各課に活かされていないのではないか。
- ・また、引き継ぎが十分にされていない状況もある。
- ・データも含め「継続性」と「方向性」が重要であり、長期的な視点と短期的な視点も踏まえた整理が必要。
- ・今後技術職員が減少して行く中で、「河道の変化の見える化」を写真集などにより、技術者が誰でも予兆と予測を感じ取れる参考書が必要。
- ・そのためには、各河川（事務所）で現職と研究会との勉強会が有効的。
- ・整備局で実施している各カテゴリー別（河道掘削と再堆積、局所洗掘対策、堤防管理）の「国総研河川研究室との合同検討会」への参加も検討する。
- ・各事務所で実施している業務等で改善すべき点や工夫すべき点など具体的に指導して欲しい。



IV. ダム管理分科会

1. 開催日・場 所：平成28年8月24日（水）東北地域づくり協会 会議室（3F）

2. 出 席 者：東北地方整備局 6名 研究会会員 14名

3. 討 議 内 容

1) 討議内容

(1) ダム機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けたダム操作規則等点検要領（案）及び同解説

① 事前放流

② 異常洪水時防災操作（ただし書き操作）

③ 特別防災操作

(2) ダム貯水池の堆砂

(3) ダム貯水池の水質保全対策

(4) 貯水池流木対策



編集後記

今年は、台風の発生が7月3日と遅かった（観測史上2番目）のですが、日本への上陸というと例年に比べ6個と多かった（観測史上2番目）そうです。また台風10号は観測史上初めて東北地方の太平洋側に上陸し、岩手県の沿岸部を中心に大きな豪雨被害をもたらしました。災害対応に当たられた方々ご苦労様でした。

8月24日に開催した4分科会の活動をメインとしました。引き続き分科会活動に力を入れてゆきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

（編集 事務局）